

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.27)No.	1272	(H.26)No.	1272
-----------	------	-----------	------

事務事業名	道徳教育総合支援事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	学校教育室	雪岡 正明	

会計区分	事業コード	468601
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	道徳教育総合支援事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	道徳教育総合支援事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	1	生きる力をはぐくむ教育の充実
	施 策	1	学校教育
	小 施 策	2	義務教育
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
学習指導要領の趣旨及び学校、子どもの実態を踏まえ、道徳の時間の指導の要点や具体的な授業づくりについて検証し、市内すべての学校を対象に、各校の道徳の時間及び全ての教科領域での道徳教育を充実させ、児童生徒の豊かな心の育成を図ります。
事業内容
市内全ての小中学校において、地域に根ざした道徳教育がより充実したものとなるよう、外部講師を招聘しての研修会を実施します。また、研修会での学びを各学校での実践に生かすとともに、各学校の実践事例を交流することで、今後の各学校での取組に生かします。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.26年度(事業量・取組実績)	H.27年度(事業量・取組計画)			
主な事業の実績・計画	報償費:外部講師謝金(129千円) 旅費:研修等旅費(65千円) 需用費:需要費(56千円)	報償費:外部講師謝金(117千円) 旅費:研修等旅費(47千円) 需用費:需要費(76千円)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)

	H.26年度(決算見込)	H.27年度(作成時予算額)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)
①直接事業費	240千円	240千円			
内訳(千円)	240	240			
国・県支出金					
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.15人	0.25人	0.00人	0.00人	
臨時職員等	0.01人				
②概算人件費	(0千円) 1,142千円	1,875千円	0千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(0千円) 1,382千円	2,115千円	0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.26年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
各学校における道徳教育推進教師を中心とした取組の推進に向け、担当者レベルでの研修会の実施や、外部講師による研修会の実施により、各学校での道徳教育に対する教職員の意識づけにつなげることができました。	各校における道徳教育のさらなる充実に向け、外部講師を招いての研修を実施するとともに、実践事例の紹介や、各校での取組の成果や課題を出し合うなど、課題解決に向け、授業の工夫・改善を図っていきます。
点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	「命を大切にし、心を豊かにする教育の充実」に向けて、この事業は何より必要不可欠な事業です。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	地域の方々と協働して、人との関わりや郷土を愛する心の育成につなげていきます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
今年度の取組(全体計画に基づいた実践、授業の工夫・改善)の検証により、道徳教育充実に向けて、取組の工夫改善を図っていきます。	・名張市次世代育成支援行動計画 ・名張市子ども教育ビジョン